

# 各教科等年間指導計画

令和8年度

東京都立田無特別支援学校

1 年 組

グループ

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	国語
グループ名、人数	6グループ 11名		担当教員	◎西尾	
ねらい	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 (2) 自分の思いや考えをまとめることができるようにする。 (3) 国語を大切にし、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	ひとりだちするための国語 (日本教育研究出版)		
月	単元 (題材) 名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	漢字の読み書き、今日の出来事に関心をもつ	通年	○ひらがな、カタカナ、漢字 ▲個々の課題の取り組みを、継続することができる。	・個々に応じたワークシートを用意する。	
4	挨拶・言葉遣い	8	○挨拶の仕方と言葉遣い ▲場面ごとの言葉遣いの違いを知り、「です。」「ます。」を付けて会話することができる。	・相手や場面による挨拶の仕方や言葉遣いの違いを分かりやすく提示し、反復学習を促す。	
5	作文 (体育祭)	4	○体験したことを振り返り、作文を書く。 ▲ワークシートにまとめたことを文章にする。	・振り返りを行うための資料を提示する。	
6	ハガキの書き方	8	○季節の手紙 ▲季節に合った言葉を知り、手紙を書くことができる。	・手紙の書き方を示した支援ツールを用意する。	
7	音読 (1)	8	○詩のリズムや言葉の響きを楽しむ。 ▲姿勢や声量を意識して発表する。	・複数の詩を準備し、選べるようにする。	
9	POP作り	8	○好きな本を紹介する。 ▲「好きな」ところを言葉で表現して紹介できたか。	・POPの例を準備し、全体の作業を見渡せるようにする。	
10	音読 (2)	10	○あらすじや登場人物を考えて読む。 ▲姿勢や声量を意識して発表する。	・親しみやすい物語を選ぶ。	
11 12	手紙を書く	10	○相手や目的を考えて書く。 ▲相手のことを考えることができる。	・文例を提示する。	
1 2	伝統文化を楽しむ	10	○書初め ▲筆を扱い、手本をよく見て文字を書くことができる。	・書初めや伝統的な正月遊びの道具等を用意し、活動に興味をもてるようにする。	
3	作文	4	○1年間の活動を振り返り、自分の気持ちを文章で表現する。 ▲感じたことを自分なりに書く。	・振り返るための資料を提示する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	社会
グループ名、人数	6グループ 11名		担当教員	◎日下	
ねらい	<p>(1) 我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色について情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 社会的事象を自分の生活と結び付けて考える力や社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。</p> <p>(3) 社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養う。</p>				
年間授業時数	18 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
10	我が国の地理や歴史	4	<p>○移動教室先の地理や歴史の概略</p> <p>▲山梨県の地理歴史について調べ、ワークシートに記入することができたか。</p> <p>▲調べるにあたり、地図や ICT 機器を活用することができる。</p>	<p>・映像や写真、地図などを使い、学習内容にイメージがもてるようにする。</p> <p>・ICT 機器を活用する。</p>	
11 12	我が国の国土の自然環境と国民生活  公共施設の役割と制度	6	<p>○日本の土地や名産品</p> <p>▲日本の土地や特徴的な文化について関心をもつことができる。</p> <p>○公共施設の役割や使い方等を調べ、確認する。</p> <p>▲マナー学習や活用方法を知ることができる。</p>	<p>・ICT 機器を活用して、調べ学習の時間を設け、理解を深められるようにする。</p> <p>・公共施設のマークや活用方法などの動画で理解を深められるようにする。</p>	
	地域の安全	4	<p>○自然災害と地域の人との関わり</p> <p>▲自然災害に風水害があることを知る。</p> <p>▲災害時の避難行動や災害に対する備えを確認することができる。</p>	<p>・避難訓練やマイタイムラインなどを活用して、災害に対する必要な備えや行動を分かりやすく伝え、身を守る行動を身に付けられるようにする。</p>	
1 2 3	社会参加ときまり	4	<p>○社会生活に必要な決まり(選挙と自治)</p> <p>▲選挙や投票の仕組み、ルールについて知り、理解する。</p> <p>▲公約の内容から選挙の投票者を選ぶことができる。</p>	<p>・生徒会役員選挙を活用したり、学習グループ内でのデモンストレーションをしたりして、実際に投票を経験し、理解度を高める。</p>	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	数学
グループ名、人数		6グループ 11名		担当教員	◎渡邊 山崎、新居
ねらい		(1) 数量や図形などの基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、日常の事象を数学的に解釈、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数理的に捉えて、筋道を立てて考察する力、数量や図形などの性質を統合的・発展的に考察する力、事象を簡潔・明瞭・的確に表現し、目的に応じて柔軟に対応する力を養う。 (3) 数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
年間授業時数		70 単位時間	使用教科書	ひとりだちするための算数・数学（日本教育研究出版）	
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通 年	整数・小数・分数・四則計算・文字式	通年	○定着度確認後、各自のレベルに合わせた個別のワークシート等に取り組む。 ▲意欲的に計算に取り組み四則計算等が正しくできる。 ▲意欲的に生活に活用できる。 ○各自のレベルに合わせた問題を電卓で取り組む。	・プリントを提示して、支援が必要な生徒には机間指導で個別に対応する。 ・難解な問題にならないように各自のレベルを的確に判断する。	
	電卓処理		▲様々な計算や電卓問題に対して目標をもって積極的に取り組むことができる。 ▲電卓を使って計算処理ができる。	・速く正確に計算処理できるよう、電卓の位置などポイントを指摘しながら繰り返し練習する。	
4 5 6 7	量と大きさ （大きさ調べ） 長さ、重さの測定 （単位と種類）	15	○地域の地図などを提示して、kmなどの単位が使われていることを理解する。 ○はかりの1目盛りの読み方。 ▲自ら意欲的に測定する。 ▲測量用具を使って正確に測定し、単位も知る。	・測定用具を提示して、測定方法及び測定時の注意点（0に合わせる、目盛りの単位）を確認する。	
	金銭の種類、計算 （金銭の応用）	15	○練習用のお札を使用し、感覚的にお金を扱えるようにする。 ▲金銭の学習の大切さを理解し意欲的に取り組むことができる。 ○小遣い帳等の見本を提示して、お金を管理する。 ▲収支の管理ができる。	・消費税等の計算のやり方練習を行う。 ・大きな額の計算や消費税には電卓を用いて計算処理をするように支援を行う。	
9 10 11 12 1 2	時計と時刻 （時間と時間管理）	30	○アナログ、デジタル時計を使用し、時刻を感覚的に理解できるように繰り返し練習する。 ▲積極的に時刻や時間の取り組むことができる。	・アナログ時計の時は針を動かして、時間の計算が視覚的に理解しやすいようにする。 ・生活に役立つ内容を取り入れる。	
3	図形 （平面、空間図形の名称、図形、作図）	10	○立体を操作して観察する。 ▲様々な図形を作図しようとする。	・体験的に理解できるように実際に測量する機会を多く設定する。 ・パソコンを活用して視覚的に分かりやすくする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	理科
グループ名、人数		6グループ 11名		担当教員	◎日下
ねらい		(1) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくりだす力を養う。 (3) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。			
年間授業時数		17 単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4 5 6	生命の連続性  地球の大気と水の循環	10	○植物の発芽、成長、結実 ▲植物の構造や簡単な働きや植物の発芽の条件や成長の条件が理解できる。 ▲周囲の植物や生物などの発見と理解から、季節を感じられるようになる。  ○天気の変化は、雲の量や動きと関係があり、映像などを用いて予想できる。 ▲台風の進路や天気の変化や台風と降雨との関係及びそれに伴う自然災害について触れる。	・農園芸班の野菜や植物も横断的に活用する。 ・発芽、成長及び結実の様子に着目して、それらに関わる条件を調べる活動を行う。 ・季節の植物観察や昆虫探しを行う。 ・ICT機器や資料を活用する中で、植物や生物の成長の様子に着目して、時間の経過と関連付けて考える活動を行う。 ・天気予報や日々の空状況を観察する。	
7 9	物質とエネルギー	4	○磁石の性質 ▲磁石の特性を観察し、磁石がくっつくものとくっつかないものがあることを理解する。 ▲動画等で磁力を調べ、理解を深める。 ○水や空気と温度 ▲水の変化を感じとる。	・校内にあるクリップや机、黒板など、身近な物に磁石を近付けて、付くか付かないかを実験し観察する。 ・水の状態の変化を感じ取りやすいように実物の観察や動画なども活用する。	
	地球・自然 地球の内部と地表の変動	3	○土地のつくりと変化 ▲地層のおおまかな構造について理解することができる。 ▲地震における自然災害について理解することができる。	・自然災害について触れ、社会の防災にも関連付けて指導する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	美術
グループ名、人数	5・6グループ 23名		担当教員	◎矢島 谷 根岸	
ねらい	<p>(1) 造形的な視点について気付き、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。</p> <p>(3) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。</p>				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	美術資料 東京の美術 (秀学社)		
月	単元 (題材) 名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	鑑賞 アートスキルト レーニング	通年	<p>○作品を展示することなどを通して生活の中で生かす。</p> <p>▲作品を介した人と関わりを意識できる。</p> <p>○制作成功体験を通して造形活動を楽しみ興味関心を高める。</p> <p>▲造形活動に能動的に取り組もうとしている。</p>	<p>・制作を介して人と関わり作品を生かせる場をつくる。</p> <p>・繰り返し行える活動にするなど主体的に行えるように工夫する。</p>	
4 5 6 7 9	オリエンテーション コラージュ	4	<p>○簡単な制作を通して安心して活動に取り組み、授業のルールを知る。</p> <p>▲制作活動に興味関心をもち活動に参加できる。</p>	<p>・成功体験を通し活動に意欲的に迎えるようにする。</p>	
	デザイン	8	<p>○体育祭のスローガン幕やポスター作り。</p> <p>▲適切な道具の使用方法を意識し制作できる。</p> <p>▲目的を意識して制作ができる。</p>	<p>・扱いやすい素材で制作する。</p> <p>・制作方法を見本などで分かりやすく提示する。</p>	
	版画技法	14	<p>○紙版画で自画像の制作。</p> <p>▲形や色の組み合わせを考えて制作することができる。</p> <p>▲制作を通して版画制作の工程を知ることができる。</p>	<p>・各版画技法を複数回繰り返し、制作内容への見通しをもてるようにする。</p>	
10 11	文化祭に向けた 取り組み	14	<p>○文化祭舞台道具の制作。</p> <p>▲個々の力を発揮すると共に、制作物に合わせて協力して制作ができる。</p>	<p>・写真などで制作内容が分かりやすいようにする。</p>	
12	立体造形	14	<p>○暮らしを彩る季節の飾り作り。</p> <p>▲季節を意識して制作し作品で生活を彩ることができる。</p>	<p>・季節や制作のイメージができる動画などを提示する。</p>	
1 2	絵画技法	8	<p>○墨の濃淡による表現</p> <p>▲墨の濃淡の違いを体験しながら表現することができる。</p>	<p>・東洋の美術作品などの鑑賞を行う。</p>	
3	工作	8	<p>○立体物やプラ板などの工作。</p> <p>▲素材を変化させる道具や方法を学び、主体的に制作できる。</p>	<p>・扱いやすい素材と道具を用意する。</p>	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	音楽
グループ名、人数	5・6グループ19名		担当教員	◎品川（火・木）東、三宅	
ねらい	(1) 歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。 (2) 曲や演奏のよさを見いだしながら音や音楽を味わって聴くことができるようにする。 (3) 音楽活動を通して、生活を明るく豊かなものにしようとする態度を養う。				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	レッツ・コーラス！「音楽之友社」		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	発声練習 身体表現 「ダンス」 「リズムトレーニンング」 創作 「リズムリレー」 鑑賞 生演奏や視聴覚教材	通年	○歌唱前に身体を動かし、のどや身体を温める。 ▲歌唱前に進んで発声練習に取り組んでいる。 ○リズムにのって教員を模倣しながら身体を動かす。 ▲拍節に合わせて身体を動かしている。 ○我が国や諸外国の音楽に触れる。 ▲楽曲の特徴を捉えて、鑑賞しようとしている。	・生徒の実態に合った教材を提示する。 ・演奏や鑑賞に集中できる学習環境を整える。	
4 5 6 7	歌唱 「校歌」「花」 「夏の思い出」 器楽 和太鼓 「旋風の太鼓」 鑑賞 「花」等日本の名曲	19	○校歌や日本の名曲を知り親しんで歌う。 ▲言葉、歌詞の意味が分かる。伴奏と歌詞の結びつきに気づく。 ○太鼓を丁寧に叩く。 ▲教員の叩き方を模倣して丁寧に和太鼓を叩くことができる。 ○太鼓に合わせて身体を動かす。 ▲演奏時にタイミングを合わせて動き、元気に掛け声をかけたり、打ち上げのポーズを決めたりすることができる。 ○曲想を感じ取って鑑賞する。	・歌詞の内容をイメージしやすいよう、視覚支援を行う。 ・演奏する前に、口伝の確認を行う。 ・鏡で撥の動作の見本を見せる。 ・曲を構成する諸要素の中で、ポイントを絞って鑑賞できるようにする。	
9 10 11 12	創作 「移動教室のテーマソング」 歌唱・身体表現 「文化祭の歌やダンス」	31	○移動教室をイメージしながら歌詞やリズムの一部を創作する。 ▲見本を組み合わせて、歌詞やリズムの一部を創作できる。 ○文化祭に向けて、自分なりの表現で歌唱や身体表現をする。 ▲教員や友達と自分なりに歌唱や身体表現ができる。	・歌詞やリズムの見本を示し、形式や枠組みを作って創作しやすいようにする。 ・お互いの表現を鑑賞し合える発表の場を設ける。	
1 2 3	器楽 「合奏」 歌唱 「卒業式の歌」 「国歌」	20	○他の人の演奏を聴きながら、拍節に合わせて演奏する。 ▲演奏する音やタイミングを理解して演奏できる。 ○国歌など式典で歌う歌を、のびやかに歌う。 ▲歌詞を覚えて、ハーモニーを感じながら仲間と声を合わせて歌うことができる。	・色音符等、視覚で音がわかりやすいようにする。 ・他パートの音が意識できるように、お互いのパートの音を聴き合う時間を設ける。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	保健体育
グループ名、人数	5, 6グループ 22名		担当教員	◎廣本（月）唐沢・田畑 （木）唐沢・原・帖佐 （金）清水・田畑	
ねらい	(1) 各種の運動の特性に応じた技能を身に付けるようにする。 (2) 自他の運動課題を発見し、解決のため工夫したり、仲間と考えたりする力を養う。 (3) 体と心の知識を深め、卒業後も健康で安全な生活を送る気持ちを育てる。				
年間授業時数	105 単位時間	使用教科書	くらしに役立つ保健体育（東洋館出版社）		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	体づくり運動	通年	○集団行動・体力を高める運動・体ほぐしの運動・ヨガ ▲体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができる。	・めあてとなるキーワードを提示して、合理的に動けるようにする。	
4	陸上競技	7	○短距離走 ▲正しくスタートしている。全力で走り切っている。	・スタートの手順をキーワードで分かりやすく提示する。	
5	ダンス 体づくり運動	12	○体育祭の種目 創作ダンス・集団行動 ▲大きく、力強く動いている。	・動画を活用して、動きのイメージをもてるようにする。	
6 7 9	体づくり運動 水泳 保健	31	○新体力テスト（走・跳・投に関するテスト） ▲手順通りに全力で行っている。 ○水中歩行、アクアビクス、泳法 ▲身体を大きく動かし、合理的に泳いでいる。 ○心身の健康・人との距離の取り方 ▲身近な生活上の課題として考え、伝えている。	・ポイントの提示や見本を示し、測定方法を理解しやすくする。 ・測定の機会を随時設定し、泳力の構造を実感できるようにする。 ・映像教材を活用し、イメージがもてるようにする。	
10 11	球技 器械運動	20	○キックベースボール ▲ルールを理解し、チームのメンバーと協力してゲームをしている。 ○マット運動・平均台運動 ▲回転系やバランス系の技を選択し、発表することができる。	・役割分担等をし、協力して活動できるようにする。 ・滑らかに動いているか、動画で確認し修正できるようにする。	
12 1	球技	15	○サッカー ▲勝つためにはどうすればよいか考え、協力して活動している。	・作戦を立てたり、確認したりする時間を多く設定する。	
2 3	陸上競技 武道	20	○長距離走 ▲記録会に向けて意欲をもって活動している。 ○剣道、柔道、相撲、空手など ▲礼儀作法や所作など、基本的な動きができる。	・記録用紙を活用し、自己記録や目標を意識できるようにする。 ・映像教材を活用し、イメージがもてるようにする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	職業
グループ名、人数		6グループ 11名		担当教員	◎田畑、矢島
ねらい		(1) 職業について関心を持ち、各進路行事に参加し将来についてイメージをもつ。 (2) 授業や体験を通して自分の強みや弱みを見つける。 (3) 興味・関心の幅を広げ、自己選択・自己決定する力を身に付ける。			
年間授業時数		35 単位時間	使用教科書	ひとりだちするための進路学習（日本教育研究出版）	
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	挨拶の練習 こんな時どうする？ 将来設計		○挨拶・自己紹介の練習 ▲自分から挨拶（礼）ができる。 ○ソーシャルスキルを学ぼう。 ▲日常で起こる様々なことについて、対応を考える。 ○将来設計について ▲「働く、暮らす、楽しむ、学ぶ」について考えることができる。	・毎回同じ流れで取り組み、活動に見通しをもてるようにする。 ・様々な身近な場面を想定して考えられるようにする。 ・LLブックを使用し、様々な生活について触れることができるようにする。	
4	オリエンテーション	4	○進路の流れや内容について聞く。 ▲学習内容の説明を聞くことができる。	・視覚支援教材を用いて見通しをもてるようにする。	
5 6 7	進路見学会 事前学習 事後学習	10	○見学会について見通しをもつ。 ○進路先で卒業生の姿を知る。 ▲進路見学会に参加できる。 ○進路見学で取り組んでいた作業内容を体験してみる。 ▲作業に取り組むことができる。	・視覚支援教材を用いて見通しをもてるようにする。	
9 10 11 12	就業体験 事前学習	13	○就業体験先の名前や行く日を知る。 ▲実習の内容等を意識することができる。 ○卒業後の生活を体験する。 ▲就業体験を一緒に行う。 ○自分の好きな作業や得意な作業を見つける。 ▲一定時間落ち着いて作業に向かうことができる。	・視覚支援教材を用いて見通しがもてるように工夫する。 ・色々な活動内容を用意する。	
1 2	先輩の話を聞く会  自分を知ろう （自己理解）	4	○先輩の話を聞く会 ▲先輩の話を聞く会に参加し、進路について興味をもつ。 ○自分のことを選んでやってみよう。 ▲自分の好きなことを選べる。 ○自分の苦手を知る。 ▲苦手でも配慮がればできる。	・視覚支援教材を用いて見通しがもてるように工夫する。 ・興味をもてる教材を用意し、選択できるようにする。 ・ゲストティーチャー	
3	将来設計を考えよう。	4	○将来設計を考える。 ▲「働く、暮らす、楽しむ、学ぶ」について考えることができる。	・LLブックを使用し、様々な生活について触れることができるようにする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	家庭
グループ名、人数	5・6グループ22名		担当教員	◎木全、品川、廣本、山本、木村	
ねらい	(1) 家庭生活に必要な被服、食物、住まいや暮らし方などに関する基礎的な知識と技能を身に付ける。 (2) 生活の中から問題を見出し、解決策を考え実践する課題解決力を養う。 (3) 家庭生活に必要な簡単なきまりやマナーに気付き、行動する態度を養う。				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	「ひとりだちするための調理学習」(日本教育研究出版)		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点		指導の工夫
通年	身支度、準備、片付け	通年	○準備、片付け、清掃、ごみ分別 ▲準備、片付け、掃除の手順が分かる。		・被服室、調理室の片づけ手順書を用意する。
4	被服 被服室の利用法 スウェーデン刺繍	6	○安全な道具の扱いについて知る。 ▲針やはさみを安全に使用して刺繍に取り組むことができる。		・手本や写真カードを提示し分かりやすく説明する。
5	被服 タブレット端末 ケースの制作	7	○スウェーデン刺繍 ▲手本を見て、同様の手順で作業をしようとする事ができる。		・印を付けて針を通す位置を示す。
6	被服 タブレット端末 ケースの制作	8	○スウェーデン刺繍 ▲目を正しくすくう模様刺し等、生徒の実態に応じて印を付けて示す。		・模様は、刺し見本やタブレット端末を使用し、提示する。
7	被服 家庭の仕事	6	○家庭での仕事 ▲家での仕事は何があるかイラストや写真から探すことができる。		・選択肢が分かりやすくなるようイラストや写真で視覚支援を行う。
9	被服 ミシンの基礎	8	○ミシンの操作、縫い方 ▲返し縫い、直線縫い、始めと終わりの操作を理解して縫うことができる。		・個別に言葉掛けや動作見本を行い、ミシン操作を覚えられるようにする。
10	調理 色々な汁物作り (移動教室に関係する料理)	7	○ガス台の使い方・包丁の扱い方 ▲道具の場所や包丁やガスコンロの安全な扱いができる。 ○色々な切り方を知り、実践する。		・見本や視覚的に分かりやすい手順を示す。 ・野菜などの切り方やガスコンロの扱いについて動画や静止画で確認しながら進める。
11	調理 色々な汁物作り	7	▲いちょう切り、短冊切り等の切り方ができる。		
12	調理 いろいろな食文化	5	▲計量スプーンやカップを使って、計量することができる。		
1	消費者教育	5	○色々な購入方法や購入先 ○身近な物の価格や値段 ▲興味をもって活動できたか。		・タブレット端末を活用し、アプリの使用や動画等で提示する。
2	調理(食物) いろいろな食文化	5	○健康的な食生活について考える。 ▲栄養やバランス良く食べることを知る。		・視覚的に分かりやすい教材を使って理解を促す。
3	化。	6			

令和8年度 東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	特別活動
グループ名、人数	学年全体 80名		担当教員	学年教員	
ねらい	(1) 自分達で考え、協力して行動する。 (2) 様々な活動を通して、社会のルールやマナーを理解する。 (3) 集団の中で自分の責任を果たしたり、問題解決の方法などを学んだりする。				
年間授業時数	35 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	高等部の生活を楽しもう	6	○学年オリエンテーション ○学級目標決め ○個人目標決め ○係活動決め ▲1年の授業や行事を理解する。 ▲お互いに協力して活動する。 ▲意見を述べたり選択する。	・それぞれの生徒の障害の特性や発達の状況に合わせて理解できるように教材を工夫する。 例) 視聴覚機器を使用したプレゼンテーション	
5 6 9	学級で活動しよう	17	○学級活動(各行事を知り、事前準備や事後の反省を行う) ▲活動に見通しをもてる。 ▲自分の意志や意見を持つ。 ▲協力して活動する。	・視覚教材を利用し活動内容を理解させ、活動に対して意見を出しやすいようにする。 ・選択肢を示し意見を出しやすくする。	
7	防災について考え、防災訓練をしよう	2	○災害についてそれらに関連した事象について知り、防災に対する意識を高める。 ○避難訓練、消火訓練に参加する。 ▲避難経路を知り、消火訓練等の体験ができる。	・視覚教材を利用し、選択肢を示し理解しやすくする。	
10 11 12 1 2	学年集会をしよう	8	○学年集会の内容についての話し合い。 ○学年集会の準備・進行 ▲活動内容を考えられる。 ▲意見をまとめることができる。 ▲自分の役割をはたす。	・お互いの意見を尊重しながらまとめることができるよう助言する。 ・参加が可能な取組になるよう促す。	
3	1年生のまとめ	2	○学級目標や個人目標、係活動反省 ▲自分について振り返る。 ▲他者の良い点に気付き尊重する。	・自己評価、他者評価ができるよう理解しやすい教材を工夫する。	



令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	生活単元学習
グループ名、人数		普通学級 77名		担当教員	普通学級担任
ねらい		(1) 行事の準備を通して内容を知り、意欲や目標をもって主体的に活動する。 (2) 教室をきれいにするとともに安全な教室環境を整える。 (3) 季節行事に係る活動を通し、日本や外国の文化に触れる。			
年間授業時数		35 単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	季節行事の学習や生活の中の様々な活動体験	通年	○校外や地域の自然の変化に触れ、季節を感じる。 ▲四季の変化や特徴の気づき、活動する。 ○季節の制作物 ▲活動に興味や期待感をもつ。 ○教室環境の清掃、環境整備 ▲整理整頓ができたか。	・季節に合わせた活動を工夫する。 ・活動を通して自然の変化に気付くことができるよう一人一台端末を活用する。 ・一人一人に適した道具を使用する。	
4	学校生活に慣れよう	4	○授業内容や行事について知る。 ▲説明にそって必要事項を記入する。	・各自のしおりに記入する。	
5	体育祭を成功させよう	6	○体育祭事前・事後学習 ▲田無の体育祭を知り、自分たちの活動を理解する。 ▲体育祭の準備などを通して、協力しながら主体的に活動する。	・以前の映像等の視覚教材を使用して、活動のイメージがもてるようにする。 ・自分でできることを考えて目標を立てさせる。	
6 7	世界の国を知ろう 掃除道具の使い方	7	○外国の行事や文化に触れる(ALTによる学習) ▲外国人講師と交流することができる。 ○掃除道具の使い方に慣れよう。 ▲道具を安全に正しく使う。	・興味関心のある題材をとりあげる。 ・家庭と連携する。	
9 10	移動教室に行こう	5	○活動場所や内容を知る。 ○係活動に協力して取り組む。 ▲自分の役割を理解し、主体的に活動する。	・視覚教材で活動場所や内容を理解できるようにする。	
11 12	文化祭を成功させよう	7	○文化祭の事前・事後学習 ○劇において、演技や台詞で表現する。 ▲自分の役割を意識して表現し、周りと協力して活動できる。 ▲友達と協力して作り上げる喜びや達成感を味わう。	・得意なことを活かした役割や活動に取り組む。 ・皆で協力して一つのものを作り上げることの意義を説明する。	
1 2 3	校外学習に行こう 卒業式に向けて	6	○校外学習の事前・事後学習 ▲自分の係を意識して活動できる。 ▲マナーやルールを守って参加できる。 ○3年生を送る会、卒業式 ▲見通しをもって儀式に参加する。	・視覚教材で活動場所や内容を理解しやすくする。 ・儀式に参加する意義を説明する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	総合的な探究の時間
グループ名、人数		80名		担当教員	1年生教員
ねらい		(1) 実社会や実生活と自己との関わりから自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (2) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。			
年間授業時数		35単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	オリエンテーション	2	○活動内容を知り、学習する課題を決めるきっかけとする。	・活動紹介スライドを写し、簡単に説明した後、希望アンケートをとる。	
5	以下の4グループに分かれて選択活動を行う。  ・情報  ・スポーツ  ・芸術  ・日本と世界	2	【すべてのグループ】 ○ジャンル、歴史、今注目の種目や分野等について課題をもち、調べたりまとめたりし、発表する。	・生徒の主体的な活動を設定するよう工夫する。	
6		4	○情報化の進展とそれに伴う日常生活や消費行動の変化について調べる。	・情報を収集・整理するなどの学習活動を主体的に行えるよう、テーマ、教材等を工夫する。	
7		3	○生活に身近な情報の入手方法等を調べたり発表したりする。		
9		3	○ボール等を使ったさまざまな集団スポーツ、各種トレーニング、ボッチャ交流会。	・体験活動・調査・研究、発表などを取り入れる。	
10		4	○美術や音楽などの芸術作品について調べる、表現する。	・活動のイメージがもてるよう、視聴覚機器を活用する。	
11		4	○日本と海外の伝統文化や祭りを調べたり、体験したりする。	・自分の作品を紹介したり、友達の作品の良さを感じ取って感想を発表したりする場を設定する。	
12		3	○昔の遊びや海外の遊びなどを体験する。		
1		3	▲課題解決のために調べたり体験をしたりし、実際に活動した感想を発表することができたか。	・体験活動・調査・研究、発表などを取り入れる。	
2		4	▲問題意識あるいは興味・関心をもち、情報を整理し、発表することができたか。		
3		3	▲友達と協力して調べ学習や発表に取り組むことができたか。		

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	作業学習（エコワーク）
グループ名、人数	エコワーク班 11名		担当教員	○作山、久留、山本、西尾、帖佐	
ねらい	(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能（手・指・身体の使い方等）を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 作業で働くことの楽しさ、頑張る経験を通して、仕事に対する意欲を高め、仲間と協力できる力を育む。				
年間授業時数	245 単位時間	(重重) 175 単位時間		使用教科書	なし
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点		指導の工夫
通年	出席確認、挨拶、返事、報告、準備、片付け、清掃		○挨拶、作業前後の準備等 ▲名前を呼ばれたことを意識して、返事や挨拶をすることができる。 ▲自分のできる表出方法で、返事や報告ができる。 ▲自分の役割を知り、教師の言葉がけや支援のもと、自ら取り組むことができる。		・写真と名前カードのマッチングで、わかりやすい表示ボードなどを利用する。 ・報告は、手を挙げる、機器を活用するなどし、自ら表出できるようにする。 ・文字や写真カードを用いる。 ・作業日誌は視覚支援を取り入れる。
4 5 6 7 9 10 11 12 1 2 3	紙工作業 （製品作り、材料作りにおける工程） 軽作業 シュレッダー  リサイクル作業（ペットボトルキャップ）  文化祭に向けた製品作成	245	○パルプちぎり、ラミネートはがし、紙ほし、ミキサーがけ、計量、袋詰め、封入、紙折り等 ▲ラミネートはがし、紙干し、パルプちぎり、袋詰め、計量等の工程を継続して取り組む。 ▲シュレッダーがけ、紙折機の操作、仕分けなど、手指の使い方を覚え道具を操作して作業ができる。 ▲ミキサーや、袋詰め・型押しなど、自分で道具を操作して作業ができる。 ○洗浄、裁断、成型、アイロン、穴あけレジン塗、UV レジンランプによる硬化等 ▲作業工程や材料・道具の扱い方を理解し、安全に配慮しながら手順に沿って作業を行うことができる。 ▲自分の役割を理解し、作業に取り組むとともに協力して最後までやり通そうとする姿勢。 ○1年間の振り返り ▲1年間の活動を振り返り、自ら行った工程がわかる。		・生徒の実態や興味・関心に応じて、内容や工程を選んで取り組む。 ・生徒が行いやすい自助具を取り入れる。 ・生徒の取り組みやすい活動があれば、適宜取り入れる。 ・生徒の実態に合わせて、ラミネートはがしのきっかけや紙の切り込み等の支援をする。 ・生徒の実態やその日の体調等に合わせ、作業の量や時間、行程内容を調整する。 ・工程の画像などを提示する。 ・生徒の実態に合わせて道具や運搬方法を工夫する。 ・短時間で繰り返しできる活動内容を提示する。 ・作業内容を選べる環境を設定する。

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	作業学習
グループ名、人数		クラフト班 13名	担当教員	◎谷、島井、三谷、山崎、星野	
ねらい		(1) 素材、道具、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。			
年間授業時数		245 単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4 5	・オリエンテーション ・クラフト班の仕事を知る。	24	○報告・連絡・相談 ▲適切な挨拶報告ができる。 ○ラジオ体操やストレッチ ▲安全のために体の状態を整えられる。 ○作業の準備と片付け ▲準備、片付け、清掃ができる。	・必要な用具や材料の写真カードを使用する。 ・挨拶、報告の練習時間を設ける。	
6 7 8 9 10 11	・クラフト作業 「作業製品販売に向けて」	76	○作業準備と片付け○木材加工切断 ○やすりがけ○組立○仕込み・塗装・仕上げ○アイロン○ミシン○レザークラフト○紙工 ▲作業内容、工程を理解し自分から意欲的に作業できる。 ▲適切な挨拶・報告・連絡・相談・質問ができる。 ▲道具を適切に扱い、仲間と協力して効率よく作業する事ができる。 ▲一定時間集中して作業ができる。	・視覚的に分かりやすく示す。 ・毎時間の作業量の目安や目標を明確にする。 ・補助具を工夫・活用し、生徒が自分の力で作業を行えるようにする。	
	・インターシップ	30	○挨拶、報告、連絡、相談、質問、指示された事を守り作業を行う、時間を守る、準備や片付けを積極的に行う等、就労に適した態度・言葉遣い等ができたか自己評価し、これからの課題の整理を行う。	・視覚的に分かりやすく示す。 ・ワークシート等を活用する。	
11 12  1 2	・文化祭で製品を売る。 ・販売に向けて製品を作る  ・クラフト作業 「作業製品販売に向けて」	20  75	○作業準備と片付け○木材の加工と切断 ○部品加工○やすりがけ○組立 ○塗装・仕上げ○アイロン○ミシン ○仕込み・仕上げ(裁断等) ○レザークラフト○刻印○染色○金具付け○紙工 ▲作業内容、工程を理解し自分から意欲的に作業できる。 ▲挨拶・報告・連絡・相談・質問をきちんと行う事ができる。 ▲道具を適切に扱い、仲間と協力して効率よく作業する事ができる。 ▲一定時間集中して作業ができる。	・繰り返し練習し、身に付けられるようにする。	
3	1年間のまとめ	20	○作業学習のねらいや心構えを意識して作業ができたか自己評価する。 ▲自己評価と課題整理ができる。	・次年度につながる評価表にする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	作業学習
グループ名、人数	農園芸班 14名		担当教員	◎木村、唐澤、田畑、菅原	
ねらい	(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能(手・指・身体の使い方等)を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 働くことの喜び、厳しさを体験することを通して、労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数	245 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	職業生活		○挨拶 ○作業準備と片付け ▲適切な挨拶ができる。 ▲身だしなみが整えられる。 ▲片付けや清掃ができる。	・ロールプレイを行う。 ・視覚教材を用い具体物を見せる。	
4	オリエンテーション	23	○作業班メンバーについて ○作業内容と作業計画について ▲作業班のメンバーがわかる。 ▲作業内容がわかる。	・口頭と文章の説明だけでなく、写真やビデオ、具体物を使って分かりやすく説明する。	
5 6 7 9 10 11 12 1 2 3	農業の生物の栽培と管理	222	○畝づくり ▲スコップでの土おこしができる。 ▲鍬等を使った畝作りができる。 ▲耕運機の操作ができる。 ○苗植え ▲マルチ張りができる。 ▲穴開けができる。 ○土作り ▲土運びができる。 ▲土混ぜができる。 ○農作物の管理 ▲水やりができる。 ▲除草ができる。 ▲追肥ができる。 ○収穫 ▲教員に指示された作物をはさみで収穫できる。 ○販売 ▲笑顔で販売、接客ができる。 ○種まき ▲教員に指示された場所に種や苗を植えることができる。	・必要に応じて倒れないように身体を支える。 ・補助具を使い畝などがまっすぐになるようにする。 ・畝の幅や長さが整うように視覚的に支援する。 ・等間隔に穴が開くようゆっくり行なわせる。 ・先頭の者が目的地の把握や、後方に気配りを行うことを意識付ける。 ・活動の前と後に畑や作物の確認を一緒に行い変化に気づけるようにする。 ・模範で野菜の切断方法や持ち方などを示す。 ・ロールプレイを行う。 ・補助具を使用して正確に植えられるようにする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	作業学習
グループ名、人数	食品加工班 11名		担当教員	◎木全、松本典、渡邊	
ねらい	(1) 素材、道具、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数	245 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	職業生活		○衛生・挨拶 ▲適切な挨拶ができる。 ▲身だしなみが整えられる。 ○作業の準備と片付け ▲準備、片付け、清掃ができる。 ○報告・連絡・相談 ▲「できました。」「確認お願いします。」等が言える。	・身だしなみチェックを作成する。 ・身支度の手順をカードや写真で示す。 ・必要な用具や材料の写真カードを使用する。 ・報告の台詞を言う練習時間を設ける。	
4	オリエンテーション	23	○作業内容と調理工程 ▲作業内容や調理工程がわかる。 ○テーブル拭き ▲清掃検定の拭き方ができる。	・写真やビデオを使って分かりやすく説明する。 ・定着するよう繰り返し取り組む。	
5 6 7	調理 (製品作り) ・ピザ  販売	63	○計量の準備 ▲スケールやタッパー、材料を準備することができる。 ○計量 ▲正確に計量ができる。 ○分割・丸め ▲道具を使って生地を計り分けることができる。	・必要な用具や材料の写真カードを示す。 ・計量マニュアルを作成し、慣れるまでは読み上げながら作業する。 ・正確に計量できるように繰り返し練習する。 ・大体の量を視覚的に分かるように見せる。	
9 10	事務 ・領収書 ・カード ・販売 POP 作り ・シール貼り等	55	○ピザの台紙作り ▲自分の分担作業を丁寧に取り組む。 ○ラベル貼り ▲まっすぐにラベルが貼れる。	・作業工程を分業化し、得意な場所に配置する。 ・ラベル貼りの補助具を活用する。	
11	進路見学 就業体験 (インターシップ) (1月～2月)	30	○1、2日働くことを体験する。 ▲指示通りに仕事に取り組むことができる。 ▲挨拶・報告・相談ができる。	/	
12 1 2	調理 (製品作り) ・ピザ ・チョコチップパン ・食パン ・フォカッチャ販売	54	○成型 ▲パンの種類に応じた成型ができる。 ○袋詰め ▲きれいにパンを袋に入れることができる。 ○販売、金銭のやりとり ▲接客用語を言うことができる。 ▲釣銭の判断ができる。 ○工程表の見方を覚え、自ら仕事に取りかかることができる。 ▲工程表の見方がわかる。	・成型ができる補助具を準備する。写真レシピを作成する。 ・パンに応じた袋の大きさを用意する。 ・接客用語が身に付くよう繰り返し練習をする。 ・お釣り表を作成する。 ・ホワイトボードに各自の仕事をわかりやすく表示する。	
3	職業生活 1年間のまとめ	20	○作業学習のねらいや心構えを意識して作業ができたか振り返り自己評価する。 ▲自己評価と課題整理ができる。	・良かったところを褒めて次年度の意欲につなげる。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部		高等部	学年	1年	教科等名	作業学習 清掃班
グループ名、人数		清掃班 14名		担当教員	◎品川 日下 廣本	
ねらい		(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能(手・指・身体の使い方等)を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 働くことの喜び、厳しさを体験することを通して、労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数		245 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点		指導の工夫	
通年	職業生活 (職業生活に必要な思考力、判断力、表現力)	毎時 20分	○身だしなみ、服装 ○挨拶、片づけ、清掃 ○作業の内容の確認、授業の成果と課題付け ▲作業学習のねらい、個人の目標、学習の流れを把握している。		・提示された指示書を確認する。 ・作業日誌にねらいや目標を記入できる欄を設け、毎時確認できるようにする。	
4	清掃資機材基礎練習 清掃技能基礎練習 校内清掃	60	○タオルのたたみ方、絞り方、自在箒、ダスタークロス、クリーナーの使い方を練習する。 ▲正しく資機材を扱いながら教室清掃や廊下清掃ができる。		・練習ボードを使用し、テーブル拭きの基本的な手順や手の動かし方を練習する。 ・タオルの幅を意識して拭けるように机に印をつけるなど視覚支援を行う。	
5	校内清掃 (窓、教室、廊下)					
6	校内清掃 (食堂、教室、廊下、更衣室)	26 水午後	○食堂の床拭き、床拭き、机拭きを行う。 ▲拭き残しや掃き残しをしないように、丁寧に清掃することができる。		・見取り図を作成する。 ・生徒の活動を評価し、個々の課題を明確にしていく。	
7	清掃資機材基礎練習 清掃技能基礎練習 校内清掃	44	○スクイージーの使い方、モップの使い方を練習する。 ▲正しく資機材を扱うことができる。 ▲窓に水滴や汚れが残っていないか点検することができる。 ▲モップのセッティングの仕方、絞り方、拭き方を理解する。		・視覚ボードや作業手順カードを利用するなど視覚支援を行い学習の効率化を図る。 ・濡れタオルと乾拭きタオルの色を分ける。	
9	校内清掃					
10	高1 教室清掃、 ゴミ回収 高1 更衣室清掃 玄関清掃 廊下清掃 校外清掃	34 水午前	○教室のごみ回収や更衣室の清掃を行う。また玄関の窓清掃及び下駄箱清掃に取り組む。 ▲教室出入り際には挨拶することができる。 ▲互いに協力して、回収を分担する。 ▲任されたごみ回収や清掃場所を最後まで責任をもって取り組むことができる。 ○外部受注の仕事に取り組む。 ▲5日間作業に取り組むことができる。		・必要に応じ、その都度、指示内容やルールの理解を確認するように言葉かけを行う。 ・見取り図を作成する。	
11	(学童清掃)					
12	清掃技能検定向け練習 校内清掃 校外清掃 (学童清掃)	17	○検定マニュアル通りに清掃する。 ○校内清掃検定を実施する。 ▲マニュアルに従って、清掃することができる。 ▲制限時間を意識している。		・過去の検定のDVDを見て検定の流れを理解する。 ・DVDを活用しながら繰り返し実践を行う時間を設ける。	
1	校内清掃 食堂、玄関、窓 教室、廊下、更衣室	48	○食堂の床拭き、床拭き、机拭きを行う。 ▲拭き残しや掃き残しをしないように、丁寧に清掃することができる。		・作業工程を分けて、覚えてから次の工程に移るようにする。 ・濡れタオルと乾拭きタオルの色を分ける。	
2	校外清掃 フレンドリー清掃 インターンシップ		○玄関の窓や学童の窓をスクイージーで清掃する。 ▲清掃終了後に報告することができる。 ○インターンシップ先で働く体験をする。 ▲インターンシップに参加できる。		・視覚ボードや作業手順カードを利用する。 ・インターンシップ先の事業所の写真や情報を提示して、見通しをもって参加できるようにする。	
3	清掃まとめ 2年時の清掃	16	○外部指導員や先輩の清掃の様子を見学し、清掃技術の向上を図る。 ▲模範をよく観察し、清掃方法を覚える。		・必要に応じ、その都度、指示内容やルールの理解を確認するように言葉かけを行う。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	作業学習 事務補助班
グループ名、人数		事務補助班 12名	担当教員	◎東、矢島	
ねらい		(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての基本的な技能を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 働くことの喜び、厳しさを体験し、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。			
年間授業時数		245 単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	職業生活 「勤労の意義」 「職業」	毎時 20分	○出席確認、挨拶、身だしなみチェック、作業内容、時程の確認、日誌記入、片付け、清掃 ▲ビジネスマナーを意識する。	・自己評価と教員が行う他者評価の結果を基に自ら目標、課題設定ができるようにする。	
4	事務 「事務業務の内容と特徴」	60	○オリエンテーション(挨拶、ルール、目標、仕事内容の確認) ▲作業に必要な機器の簡単な操作ができる。	・作業日誌や目標を記入できる欄を設け毎時確認する。	
5					
6	事務 「事務処理の方法」  (インターシップ°)	169	○事務トレーニング 1 シュレッダー 2 裏紙作成、押印 3 用紙補充 4 入力業務 5 ポスティング 6 雑誌ひもしぼり 7 テプラ作成 8 ラミネーター 9 印刷 10 リユース 11 メモ帳作成 ▲PCや印刷機などの操作ができる。 ▲受注に対して責任をもって自ら主体的に取り組もうとする。 ▲教員や先輩に教えてもらいながら手順書を手掛かりに工程を理解する。 ▲一人で手順書をもとに時間や効率を意識して工程を進めている。 ▲発注内容に対して、お客様の要望や気持ちを意識して仕上げようとする。	・検品基準を明確にする。	
7					
9					
10					
11					
12					
1					
2					
3					
	事務 「事務処理の方法」	16	○年度末業務 1 クラス表示の作成 2 文具の回収仕分け ▲作業の手順を考え相談しながら取り組める。	・検品基準を明確にする。	